



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年2月13日

上場会社名 株式会社LOIVE 上場取引所 東
コード番号 352A URL <http://loive.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 前川 彩香
問合せ先責任者（役職名） 取締役 管理部GM（氏名） 代田 将己（TEL）(011)-299-2730
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	8,246	33.9	426	△51.0	352	△57.2	219	△63.1
2025年3月期第3四半期	6,157	—	870	—	823	—	594	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	18.53	18.52
2025年3月期第3四半期	48.19	—

- 2024年3月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2025年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
- 2025年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	8,962	2,218	24.8
2025年3月期	7,892	1,636	20.7

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 2,218百万円 2025年3月期 1,636百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,420	34.5	650	△35.3	550	△40.9	335	△33.0	26.38

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	12,863,871株	2025年3月期	12,329,871株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	-株	2025年3月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	12,644,827株	2025年3月期3Q	12,329,871株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料の「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に係る注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第3四半期累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善が継続するなか、冬の賞与支給や持続的な賃上げを背景に、実質賃金が緩やかな増加傾向に転じたことで、個人消費は底堅く推移しました。一方で、世界経済に目を向けると米国の関税政策を巡る不透明感や、長期化する中国の不動産不況に伴う内需の低迷など、外需環境は依然として厳しい状況にあります。

当社が属するフィットネス業界は、総合型（プール、ジム、スタジオを兼ね備えたフィットネススタジオ業態）とブティック型で構成されます。過去20年にわたり、ブティック型を中心に新規参入が活発化し、市場規模は拡大傾向にあります。顧客ニーズの変化や嗜好の多様化に応じて、総合型からブティック型にトレンドがシフトし、新業態やブランドの参入を契機にフィットネス人口が広がり、市場は拡大基調にあります。コロナ禍で一時停滞したものの、人々の健康志向の高まりや高齢化により、海外市場との比較も踏まえると、市場拡大のトレンドは継続すると見込んでおります。

このような状況において、当社は「自分を愛し、輝く女性を創る。」をミッションとし、女性向けのブティック型フィットネススタジオを運営しており、2025年12月末現在で日本全国に187店舗を事業展開しております。当社は「グループレッスン形式」のブティック型スタジオを運営しております。グループレッスン形式の店舗は1店舗あたり65～80坪程度と小規模であることから初期投資を抑制することができ、小規模故に出店物件は豊富に存在することから、多店舗展開を進めやすい点が特徴です。また、1つのスタジオにおいて、1人のインストラクターが平均20名から30名の会員様に同時にレッスンを提供することができるグループレッスン形式は、人件費効率の良いビジネスモデルというのも特徴です。このような特徴を有するグループレッスン形式の店舗を全店直営形態で展開することで、高い収益性が実現できるビジネスモデルとなっております。

当第3四半期累計期間は、拡大するピラティス市場でのシェアを最大化するために、ピラティスKを32店舗出店し、新規出店を加速しました。また、定期購入を中心に物販販売を強化し、物販売上比率は6.9%（前第3四半期累計期間比+1.0%）まで伸長するとともに、今後の出店加速に向けた人材採用も順調に進捗しております。さらに、新たな事業として、当社が長年の女性マネジメントで培った知見を体系化した女性人財育成プログラム「Mission'S（ミッションズ）」を開始し、順調に立ち上がっております。女性活躍推進という社会課題に対し、当社の強みである「人財育成力」をサービスとして提供することで、収益基盤の多角化とブランド価値の更なる向上を図ってまいります。

当社は事業拡大のために、店舗数及び会員数を重要な指標と位置付けております。なお、当社が重視している指標の状況は以下のとおりであります。

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期 (2025年12月31日)
店舗数	150	187
会員数（万人）	6.2	7.8

当社はブティックスタジオ事業の単一セグメントであり、セグメント情報は記載しておりませんが、当社が展開しているブランド及び店舗数は以下のとおりであります。

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期 (2025年12月31日)
ホットヨガスタジオ 「loIve（ロイブ）」	64	68
マシンピラティス専門スタジオ 「pilates K（ピラティスK）」	80	112
その他	6	7
合計	150	187

以上の結果、当第3四半期累計期間においては、ピラティスKの新規開設で会員数が増加し、売上高は8,246百万円となりました。営業利益は426百万円、経常利益は352百万円となり、四半期純利益219百万円となりました。

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

当第3四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べて1,070百万円増加し、8,962百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べて93百万円増加し、3,012百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産が776百万円増加したこと等により前事業年度末に比べて977百万円増加し、5,949百万円となりました。

負債合計は、前事業年度末に比べて487百万円増加し、6,743百万円となりました。

純資産合計は、前事業年度末に比べて582百万円増加し、2,218百万円となりました。

この結果、当第3四半期会計期間末の自己資本比率は24.8%（前事業年度末20.7%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の事業環境及び業績動向を踏まえ、2025年5月15日に公表しました通期業績予想を修正しております。当該予想の修正につきましては、本日公表しました「2026年3月期の通期業績予想修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,520,434	1,206,490
売掛金	829,242	1,080,711
商品	140,952	149,882
前渡金	260,310	110,262
前払費用	189,919	240,471
その他	8,421	253,122
貸倒引当金	△29,974	△28,562
流動資産合計	2,919,306	3,012,379
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	3,407,816	4,159,569
工具、器具及び備品（純額）	227,613	301,965
リース資産（純額）	8,463	6,223
建設仮勘定	21,200	-
その他（純額）	58,723	32,214
有形固定資産合計	3,723,817	4,499,973
無形固定資産		
ソフトウェア	16,585	32,562
その他	-	3,014
無形固定資産合計	16,585	35,576
投資その他の資産		
出資金	100	80
長期前払費用	35,833	40,451
差入保証金	985,344	1,157,798
繰延税金資産	210,428	215,452
その他	658	581
投資その他の資産合計	1,232,366	1,414,363
固定資産合計	4,972,769	5,949,913
資産合計	7,892,075	8,962,292

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	43,985	29,409
1年内返済予定の長期借入金	617,269	897,754
未払法人税等	396,124	194,131
リース債務	2,996	3,041
未払金	592,421	284,618
賞与引当金	94,035	59,630
未払費用	210,084	460,535
契約負債	899,735	1,142,175
預り金	13,817	97,605
その他	101,040	181,054
流動負債合計	2,971,509	3,349,955
固定負債		
長期借入金	2,761,475	2,794,117
リース債務	5,650	3,364
資産除去債務	481,187	563,519
その他	35,757	32,506
固定負債合計	3,284,071	3,393,507
負債合計	6,255,581	6,743,462
純資産の部		
株主資本		
資本金	394,997	19,009
資本剰余金		
資本準備金	590,747	772,256
その他資本剰余金	208,750	766,247
資本剰余金合計	799,497	1,538,503
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	442,000	661,318
利益剰余金合計	442,000	661,318
株主資本合計	1,636,494	2,218,830
純資産合計	1,636,494	2,218,830
負債純資産合計	7,892,075	8,962,292

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	6,157,429	8,246,227
売上原価	3,681,902	5,373,048
売上総利益	2,475,526	2,873,179
販売費及び一般管理費	1,605,283	2,446,356
営業利益	870,242	426,823
営業外収益		
受取利息	89	1,750
受取保険金	75	64
その他	1,084	864
営業外収益合計	1,249	2,679
営業外費用		
支払利息	29,894	46,623
支払手数料	17,802	5,866
上場関連費用	-	10,651
その他	566	14,102
営業外費用合計	48,263	77,244
経常利益	823,228	352,258
特別損失		
固定資産除却損	898	617
事務所移転費用	8,819	3,060
社名変更費用	-	1,056
特別損失合計	9,717	4,734
税引前四半期純利益	813,510	347,524
法人税等	219,378	128,206
四半期純利益	594,132	219,317

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用は、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、ブティックスタジオ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年4月24日付で東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。上場に当たり、2025年4月23日を払込期日とする一般募集による新株式300,000株の発行により、資本金及び資本準備金はそれぞれ172,500千円増加しております。

また、当社は、2025年6月26日開催の定時株主総会の決議に基づき、2025年8月1日付で減資を実施しました。これにより、資本金を557,497千円減少させ、全額をその他資本剰余金に振り替えております。

さらに、新株予約権の行使により、資本金及び資本準備金はそれぞれ9,009千円増加しております。

その結果、当第3四半期会計期間末において、資本金が19,009千円、資本準備金が772,256千円になっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	218,526千円	359,926千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。